

# 講演と映画鑑賞会の活動報告

担当 5 班

1. 実施年月日：2019年8月9日（金）
2. 実施場所：大阪駅前第2ビル 5階 第一研修室
3. 参加者数：講演会68名、映画鑑賞会71名
4. 実施結果

- ・ 9時55分：集合
- ・ 10時00分：野々村瑞穂先生による講演会並びに質問  
講演テーマ「100歳までげんきに生きる」



- ・ 11時40分：全体写真
- ・ 11時45分：昼食・班長会議
- ・ 12時45分：ビデオ研修「オレオレ詐欺撃退法」
- ・ 13時00分：映画鑑賞「おくりびと」
- ・ 15時30分：終了・解散



## 5. 実施結果を踏まえた参加者の声など

### (1) 講演会「100歳までげんきに生きる」

身体活動と食行動を、自ら実践することにより100歳まで生きることが可能であることが認識できた。  
このことは、ひとつの生きる目標設定につながるという声もありました。  
野々村先生の講演レジメは必読です）

（事前配布の

### (2) ビデオ「オレオレ詐欺撃退法」の研修

撃退法のポイントは④つ ①相手の名前確認 ②警察など内容相談の実施 ③相手へ確認の電話 ④地域・家族との絆の構築 である事を学んだ。

### (3) 映画「おくりびと」の鑑賞

（宗教学者の島薺進氏の著作物から）

映画「おくりびと」に関して、作品ではいくつかの場面で死を主題とした印象的な会話がかたられており、死を全く疎遠で近づきたいものとはせず、身近な事柄として考え語るという態度が示されている。また作品全体を通して死があつてこそ生の力がもたらされること、更には死に立ちあいつつ死を超える絆を築きうることや死者を美しく送ることで和解と愛が、そして充実した日々の生がもたらせうることが印象付けられて行くと言っている。

## 感想

- ・ 100歳まで生きるなら、せいぜい食生活に気を付けて活きたい
- ・ 「おくりびと」死から生をまなびました。
- ・ 「100歳まで元気に」わかり易いお話でひよっとしたら、わたしも100さいまでいけるかもしれないと目標が出来ました。
- ・ 「おくりびと」何度見ても心にひびき心打たれる映画でした
- ・ 成せば為る成さねば為らぬ何事もまさに金言である。
- ・ 講師の「健康寿命」を体現されており、言葉が生きて届きました。いい出会いと感謝します。
- ・ 映画「おくりびと」はひとりで死ぬかも？の日頃から抱き続けていた、「死ぬ事」への恐れが薄らぎました。
- ・ そら組の目下ガンと戦っている仲間も交えての鑑賞会では、顔中溢れる涙が止められぬ程に新たな感情が込み上げました。とても、立派な思いやりに満ちた企画でした。